

中部APRA 5月定例会 報告書

浜松Next・R経営塾OB勉強会報告書

日時：平成30年5月21日（月）

時間：18：30～21：00

会場：クリエート浜松53会議室

中部APRA 5月定例会を浜松で開催しました。

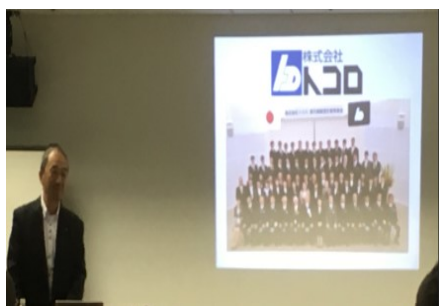
スタッフ向け説明会というテーマでの開催でしたが、約30名の方が興味深くご参加くださいました。**井上会長**より、「時は金ではなく、命です。命を削って来られているので、しっかり持ち帰っていただきたい」今回は、7年連続カンコン出品されている株式会社トコロの小川様、林様、安藤様にお越しいただき、感動物語コンテスト（感コン）で得た本当の価値について熱く語っていただきました。

★ 株式会社トコロ 小川様

会社理念 「同音同響」でオーケストラ経営で、社長と社員が同じ方向を向いて目標に邁進していくという理念のもと、会社の取り組みをご紹介します。

・儲かる会社はキレイ！ トコロでは役員自らがトイレ掃除を実践。

ES向上、CS向上。サンクスカードで社員同士のコミュニケーションを密に、1人年間508枚という驚きの数。絆を深めるのはもちろんお客様とも！講演会、展示会セミナー、お客様より「次は何をしてくれるの？」と聞かれるほどに！お礼のサンクス葉書きはすべて手書きで、心をこめて～。
地域貢献活動も忘れていません、地域の清掃活動を通じて地域へお返ししています。



★ 株式会社トコロ 林様・安藤様 感動物語コンテスト(感コン)への取り組みについて

漫才をするかのようなテンポでおもしろく、そして分かりやすく、感コンを「山登り」例えご説明をしていただきました。

①山登りするときには、まずどうしますか？ （中部予選は8月9日開催！）

まず、いつ登るのか？を決めるように、日を決めます。

当時、自分たちは、既に社長が参加を決めていたので、やるしかない！からのスタートでした！

②ルート決め

山登りでは頂上まで行くことを目標に、行き方はいくつかあるものです。

先ずはテーマ決め、これがなかなか大変でした。感コンチームだけではテーマを決めきれず、社内アンケートを実施。その中のテーマを総合して決定していきました。

主人公を決め、共感を得られるものに～

③登山

いよいよ、山登り。

「起承転結」を確認し、肉付けしていくうちにフォーカスするところがぼやけてしまっていることが判明し一旦リセットに。これが予選半月ほど前のこと…山登りでいうと、下山してコース変更ということに…。そして、映像、音声、文字をどう表現するかをパート分けして行きます。

こういう出来事が、作品だけでなく結束力をよりよくするものになってきます。あと、2週間…実際に担当していない社員に見てもらい、意見をもらいながら、作品へと仕上げていきます。

紆余曲折を繰り返しながら、まるで文化祭のように感コン直前にはみんなの思いがギュッと集まります。

途中、心が折れかけたりすることもあり…、大変な思いもありましたが、

その分得るものもとても大きかったと思います。他の社員からも沢山の励ましをもらい、これまでの苦労が感動という形で返ってくるのです。

感コンを振り返り

- ・社員同士の団結力が向上
- ・ねぎらいの言葉を沢山もらえた
- ・仕事がやりやすくなった
- ・意識統一が図られ仲良くなれた
- ・仕事で交流のない人とも
- ・会社のことが好きになった
- 親交が深まった

**やる前からできない！ではなく！
まず、やってみることから！
登る山が大きければ大きいほど
山頂にたどり着いた時の感動も
大きかった！！**